

## 日本産藻類分布資料

本号より表題の欄を設けます。比較的採集頻度の少ない藻の新産地とか、西日本には普通にみられるが関東以北にないとされていたものの新産地とか、水深 220m の海底からミルを採ったとか、今迄1度も見かけなかったのに突然豊産したとか、紅雪、緑雪の記録等々を海藻、淡水藻の別なく、会員多勢からの投稿を期待します。下記の2例のような形式にしたい考えです。

## I. 淡水藻

1. *Compsopogon oishii* OKAMURA オオイシソウ, 熊野茂, 岡山県児島湖倉敷川口, ヤナギモとササバモ上に着生, 多量, 昭44.8.22.

## II. 海藻

1. *Percursaria percursa* (J.G.AG.) ROSENV. 西田正則, 兵庫県新舞子, 昭37. 同氏腊葉から広瀬弘幸同定。

## 第7回 国際海藻学会議

## VII. International Seaweeds Symposium

第7回国際海藻学会議の日本国開催もいよいよ来年8月に迫ってきました。本会会員の各位多数の参加が望まれています。今日迄に一応きめられた予定を下記の通りにお知らせします。

会場：札幌市内, 会期：8月8日より8月12日迄5日間に1般講演と特別講演との他に1日室蘭迄海藻採集の日帰りバスツアー。会議用語は英語。

大会終了後会議場を大阪に移して, 8月14日から3日間海藻工業の見学, 参加者相互の親睦を図る観光バスツアー, 特別講演が行われます。場所は大阪, 京都, 奈良, 志摩半島。

詳細は本誌の後続号に載せます。既に外国から70人余りの申込みがあり盛会さが予想されます。サーキュラーの発行：第1回は本年4月, 第2回は8月の予定です。サーキュラーの配布を望まれる方は下記宛申込んで下さい。

東京都台東区上野公園 国立科学博物館 千原光雄。

## 国際学会の御知らせ

本年11月13と14の両日, パリにおいて The Symposium on Alternation of Generations and Life-Histories of Algae が開かれます。組織責任者は J. Feldmann. スポンサーはフランス植物学会とフランス藻類学会です。詳細問合せ中ですので, 返事のほしい方は会長宛御申込み下さい。